

放課後等デイサービス「キッズすてっぷとうひ」評価結果

改善内容・改善目標

公表：令和5年12月11日

	チェック項目	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	活動に合わせて、机の配置などを工夫し、スペースを確保して活動をしています。
	2 職員の配置数は適切であるか	職員の配置は、適切に出来ています。ホームページに、名前や資格を載せています。
	3 事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	駐車場の外灯を撤去し、通路を広く確保することが出来るようになりました。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	ミーティングを毎日行い、前日の振り返りや当日の支援についての確認を行います。
	5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者様向けのアンケートを実地していますが、全員分の回収が困難であるため、回収方法に工夫をしています。
	6 この自己評価結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	結果は玄関に掲示しています。又、ホームページでも公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者との連携を今後も密に行っていきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	オンライン研修も含め、細めに情報を収集して、研修参加に努めています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	モニタリングや、個別支援会議を行い、ニーズや課題について分析した上で、計画書の作成をしています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	アセスメントツールに基づいて、適応行動の状況を図ります。

適切な支援提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	ミーティングを毎日行い、チームで活動プログラムの立案を行います。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	常に情報収集を行い、現状に合った活動プログラムになるように工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日の課題は個別に設定し、土曜日や長期休暇は、午前・午後に課題を分けて設定し支援を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	下校時刻に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせ、支援計画の工夫をしています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎日のミーティングで、午前中に確認をし、長期休暇の時は送迎後に翌日の確認をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	毎日支援の振り返りを行い、気づきを共有しています。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	必ず日々の記録を行い、支援の検証・改善に繋げています。
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	ガイドラインの基本活動に沿って、複数を組み合わせることで支援を行っています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	相談支援事業所担当者様、保護者様、障がい者支援センター担当者様、児発管が参加しています。相談支援事業所担当者様と児発管のみの場合もあります。

関係機関や保護者との連携

21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	学校によっては、下校時刻の変更の連絡がなかったり、事前に確認している時刻と実際の時刻が異なることがあるので、その都度連絡し調整しています。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	連絡体制は整えています。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	情報共有と相互理解に努めています。
24	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	相談事業者様には、情報の提供を細やかに行っています。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けいるか	専門機関との連携をとり、助言を受けています。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	読み聞かせや観劇などのイベントに参加し、他学童や生徒との交流を年に数回行っています。
27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	地域の連絡協議会へ積極的に参加し、意見交換をしています。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳や送迎時の時間に、保護者様と状況をお伝えし、共通理解を持つように努めています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	保護者様に個別の対応は行っていますが、ペアレント・トレーニングは行っていません。今後ペアトレの研修を受け支援に繋がります。
30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に必ず行っています。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	職員間で話し合い 考えを統一し、保護者様に必要な助言と支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	コロナ感染の状況を見ながら、保護者交流会の実施に向けて検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情が生じた場合は、迅速かつ適切に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月、会報や行事予定を発行しています。活動内容はブログでも発信しています。
	35	個人情報に十分配慮しているか	十分配慮しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	個別に連絡帳や電話、対面にて意思の疎通を図っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	事業所の行事には地域住民の招待をしていますが、地域の行事には積極的に参加しています。また 月に1度 周辺のゴミ拾いをし、地域との交流を深めながら 事業運営に努めています。
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	各マニュアルを策定し、職員や保護者様に周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	定期的に避難訓練を行い、災害についての説明や、避難場所までの移動経路の確認を利用者、職員と共に行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止委員会を設置し、職員研修を行っています。

の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	身体拘束委員会を設置し、職員研修を行っています。保護者様には、マニュアルを作成し、事前説明を行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	現在食物アレルギーの利用者様はいないが、職員間で対応についての共有はできています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットの記録をとり、事例検証と共有を行っています。